

## 2016(平成28)年度 全国研修会 第一報



### <テーマ> **メンタルヘルスの課題に対応した実践力の開発に向けて** — 精神保健福祉士養成におけるクリティカルな思考を促す教育法 —

今日、わが国ではメンタルヘルスの課題が増加し、それらに対応できる精神保健福祉士の養成が求められている。精神障害者の地域移行への取り組みは未だ多くの課題を抱え、高齢精神障害者への支援や認知症対策は多様な人々と連携した包括的アプローチが不可欠である。さらにいじめや虐待、新たな貧困、自殺、ひきこもりなどの新たな課題も山積している。今日のメンタルヘルスをめぐる現象はいくつもの要因が複雑に絡み合っており、これらの諸問題に対応するソーシャルワークは、状況を多角的に捉え直し、自ら問いを立て、ソーシャルワークの文脈から内省、分析するクリティカルな思考過程が不可欠である。一方、精神保健福祉士養成課程における学生の動向に目を向けると、物事を受動的に受け入れパターン化した対応を求める傾向が散見され、クリティカルで創造的な思考を育成する必要性が増している。今年度の全国研修会では、以上の問題意識に立ち、メンタルヘルスの課題に対応した実践力の開発をメインテーマに据えた。そして、その実践力の基礎となるクリティカルな思考を促す教育の意義と方法を基調講演、ワークショップ、分科会を通して考えたい。

<開催場所> **沖縄大学** (沖縄県那覇市国場 555 番地)  
那覇バス・沖縄バス『沖縄大学前』徒歩 0 分、モノレール『安里駅』徒歩 20 分、タクシー 8 分

### <タイムスケジュール> (予定)

6 月 25 日 (土)	9:30~	受付開始
	10:00~10:10	開会式 (開催校挨拶・会長挨拶)
	10:10~11:40	基調講演「メンタルヘルスの課題と精神保健福祉士養成への期待」
	11:50~13:10	昼食時間 / ブロック別連絡会
	13:10~16:10	ワークショップ「クリティカルな思考を育成する教授法 — 学生が深くアクティブに学ぶにはどうしたら良いか? —」
	16:30~18:40	平成 28 年度 精養協 通常総会 ※精養協会員のみ
	19:00~21:00	情報交換会 会場: ANA クラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
6 月 26 日 (日)	9:30~12:30	分科会 1「ループリックの (評価基準表) の評価への活用」
		分科会 2「アクティブ・ラーニングの実践例」
		分科会 3「養成教育における業務指針の活用」
	12:30~14:30	< 定期企画 > 一般・短期養成施設の集い
14:30~16:30	< 別企画 > 認定社会福祉士認証・認定機構スーパービジョン説明会	

<研修会費・情報交換会費> 研修会費 (予定): 主催・共催の会員校の教職員 13,000 円  
一般 (非会員校) 18,000 円  
精神保健福祉士・社会福祉士実習指導者 (現場の方) 3,000 円  
情報交換会費 (予定): 8,000 円

### 【1日目 6月25日(土) 10:00 ~ 16:10】

<基調講演> 10:10 ~ 11:40

テーマ「メンタルヘルスの課題と精神保健福祉士養成への期待」(仮題)

[企画の趣旨・内容] (仮)

わが国におけるメンタルヘルスの課題は、ますます増加、深刻化している。それらの諸問題に対応する法整備や施策も進んできてはいるが、メンタルヘルスの課題を抱える人々が自らの生活を再建し、安心した生活を実現するためには、個別性に対応した質の高いソーシャルワークが不可欠である。

今回の基調講演では、厚生労働省のご担当官様をお迎えし、今日のメンタルヘルスの課題に伴う施策の動向を踏まえ、それらの課題に対応した精神保健福祉士養成に期待されることをご講演頂く。参加教員が今という時代に求められる教育のあり方について問い、考える機会としたい。

講 師: 調整中 (厚生労働省)

対 談 者: 伊東 秀幸 氏 (田園調布学園大学・本協会会長)

司 会: 青木 聖久 氏 (日本福祉大学・本協会副会長)

## <ブロック別連絡会> 11:50 ~ 13:10

※事前に開催を希望するブロックのみ昼食時間中にブロック別連絡会をランチオンミーティングで実施します。

## <ワークショップ> 13:10 ~ 16:10

テーマ「クリティカルな思考を育成する教授法—学生が深くアクティブに学ぶにはどうした良いか?—」

### 〔企画の趣旨・内容〕(仮)

多様化・複雑化する精神保健福祉の歴史的課題やメンタルヘルスの課題に対応する精神保健福祉士は、問題現象を多角的に捉え、ソーシャルワークの文脈から分析し、適切な方法を選択して働きかける実践力が必要である。精神保健福祉士養成課程において、この実践力の基礎となる「問いを立てる力」、「内省的思考を通して状況を深く理解する力」を養うことが不可欠であり、教員には学生のクリティカルな思考を育成し深い学びを促す教育の実践が求められる。

本ワークショップでは、昨年度の全国大会でアクティブ・ラーニングを促す教授法についてご教示頂いた佐藤浩章先生に再びご登壇頂き、クリティカルな思考を育成する教授法を実践的に学ぶ。参加教員が自らの授業を振り返り、学生が深くアクティブな学びを通してクリティカルな思考を身につけていくにはどうしたら良いかを具体的に考え、実践力の開発に向けた授業展開を検討する機会としたい。

講師：佐藤 浩章 氏 (大阪大学准教授・大阪大学教育学習支援センター副センター長)

司会：岩本 操 氏 (武蔵野大学・本協会研修委員長)

\* 16:30 ~ 18:40 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会 平成28年度通常総会

<移動>

\* 19:00 ~ 21:00 情報交換会 於：ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー



【2日目 6月26日(日) 9:30 ~ 12:30】

<分科会1> 9:30 ~ 12:30

テーマ「ルーブリック(評価基準表)の活用について」(仮題)

### 〔企画の趣旨・内容〕(仮)

ルーブリックとは、「目標に準拠した評価」のための「基準」作りの方法論であり、学生が何を学習するのかを示す評価規準と、学生が学習到達しているレベルを示す具体的な評価基準を、マトリックス形式で示す評価指標である。

今年度は、昨年行ったルーブリック作成と、改訂(ブラッシュアップ)作業を踏まえ、実際の評価に焦点を当てたい。

ルーブリックを活用することによって、評価項目と評価スケールを学生と教員が共有することが学習効果にどのように役立つのかというところを、参加型で行いたい。実際にルーブリックを活用した取り組みについても、再度説明し、今年度は、参加者が作成したルーブリックと評価に関する資料を持ち寄り情報共有とディスカッションを行いたい。

講師：長崎 和則 氏 (川崎医療福祉大学・本協会研修担当理事)

司会：吉池 毅志 氏 (大阪人間科学大学・本協会研修委員)

<分科会2> 9:30 ~ 12:30

テーマ「アクティブ・ラーニングの実践例」(仮題)

### 〔企画の趣旨・内容〕(仮)

アクティブ・ラーニングとは、思考を活性化する学習形態といわれ、講義形式による知識の伝達とは異なり、ディスカッションや体験型学習など実際の動きを通して学生が理解を深める方法である。精神保健福祉士養成課程でもアクティブ・ラーニングを取り入れた授業展開が期待され、昨年度の全国本研修会では2日間にわたりその方法論を学ぶプログラムを設定し、多くの参加者から好評を得た。

本分科会では、昨年度の研修内容を発展させ、実際に授業でアクティブ・ラーニングを導入した際の課題や、難しさなどを実践例として3名の方にご発題頂く。後半はグループディスカッションを通してアクティブ・ラーニングにおける課題の整理と具体的な改善点、工夫点について共に考え、学び合う機会としたい。

コーディネーター：橋本 みきえ 氏 (西九州大学)

司会：行實 志都子 氏 (神奈川県立保健福祉大学・本協会研修委員)

話題提供者：調整中(3名に依頼を予定)

<分科会3> 9:30 ~ 12:30

テーマ「養成教育における精神保健福祉士業務指針の活用」(仮題)

〔企画の趣旨・内容〕(仮)

日本精神保健福祉士協会は平成24年に「精神保健福祉士業務指針及び業務分類第2版」を公表し実践現場における普及啓発を進めている。第2版では、精神保健福祉士の業務を「精神保健福祉にかかわる諸問題を精神保健福祉士の理念・視点から分析・解釈し、ソーシャルワークの知識や技術を活用して状況に働きかける具体的行為・表現内容」と定義しており、精神保健福祉士の業務を力動的かつ内省的に捉える共通言語として実習指導や養成教育への活用が期待できる。

本分科会では、第2版の趣旨と概要を紹介し、業務指針の意義を参加者と共有したい。現場の実習指導者の方々にもぜひご参加頂き、教育と実践をつなぐツールとして業務指針を活用する方法を共に考える機会としたい。

講師：岩本 操 氏 (武蔵野大学・本協会研修部会長)

司会・コーディネーター：田村 綾子氏 (聖学院大学・本協会研修委員)

茶屋道 拓哉氏 (九州看護福祉大学・本協会研修委員)

<定期企画> 12:30 ~ 14:30 一般・短期養成施設の集い

〔企画の趣旨・内容〕

平成25年の全国研修会より、一般・短期養成施設の集いを全国研修会時で定期的に設けている。研修会が教授法中心となり、本年度は次年度に引き続き、ランチミーティングとして集いを開催し、養成施設独自の教育、4年制大学等における養成教育の違いも含め、養成施設における教育の役割について考え、語り合う場としたい。

担当：安元 紀子 氏 (九州医療専門学校・本協会副会長) / 吉澤 豊 氏 (日本福祉教育専門学校・本協会理事)

【別企画・希望者のみ】14:30 ~ 16:30

<日本ソーシャルワーク教育団体連絡協議会主催 認定社会福祉士認証・認定機構スーパービジョン説明会>  
認定社会福祉士認証・認定機構が定めるスーパービジョン説明会を併せて開催いたします。詳細は、第二報公開時に別途ご案内いたします。

担当：石川 到覚 氏 (大正大学名誉教授・本協会監事) / 松本 すみ子 氏 (東京国際大学・本協会理事)

【その他の連絡事項】

- \* 講演・タイムスケジュール等の内容は現時点のものです。一部変更となる場合もあります。
- \* 正式な研修会費・参加申込方法などは、5月上旬発送予定の第二報でご案内致します。
- \* 研修会両日ともご昼食(お弁当)をご用意する予定です。必要な方は申込開始時に併せてご注文ください。
- \* 6月25日(土)16:30開会の平成28年度通常総会の開催通知は追ってご連絡いたします。

【関係学会：日本精神保健福祉学会全国学術研究集会の開催について】

\* 全国研修会前日の2016年6月24日(金)に関係学会の「第5回日本精神保健福祉学会全国学術研究集会」が同会場の沖縄大学で開催されます。入会・申込等の詳細は下欄の学会事務局にお問い合わせください。

一般社団法人日本精神保健福祉学会 2016年度 第5回学術研究集会

開催日：2016年6月24日(金) 会場：沖縄大学

テーマ：「精神保健福祉医療を地域の社会・歴史から考える - チャースガナマラカ(これからどうする) -」  
※午前中に自由研究発表(発表演題募集締切は5月15日(月)17:00【厳守】まで)、午後より総会ならびに當山富士子氏(沖縄戦・精神保健研究会会長)の基調講演、シンポジウム、情報交換会を開催します。

〔学会への入会及び学術研究集会申込に関するお問い合わせ〕

一般社団法人日本精神保健福祉学会

大会に関する問い合わせEメール(沖縄大会実行委員会)：conference@jassmhs.jp

入会に関する問い合わせEメール(学会事務局)：mail@jassmhs.jp

ウェブサイト：http://www.jassmhs.jp/index.html

# アクセス

## 沖縄大学

〒902-0075 沖縄県那覇市国場 555 番地

TEL. 098-832-3216 FAX. 098-832-0083

### バスをご利用の場合

市内線 ◎那覇バス **6** (那覇おもろまち線)

市外線 ◎沖縄バス **35** (志多伯線) **100** (白川線) **40 109** (大里線)

那覇バスターミナル  
より乗車 **235** (志多伯おもろまち線)

『沖縄大学前』  
バス停 下車


バス停より沖大まで  
徒歩 **0** 分

市内線 ◎那覇バス **2** (識名開南線) **4** (新川おもろまち線)


『真和志小学校前』  
バス停 下車


沖大まで徒歩7分

### モノレールをご利用の場合

← 那覇空港 那覇空港から約18分 


安里駅

 車・タクシーをご利用の場合: 約8分

 徒歩の場合: 約20分

沖縄大学

### タクシーをご利用の場合

← 那覇空港 那覇空港から約20分~30分 

沖縄大学

※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。

一般社団法人 日本精神保健福祉士養成校協会

Japanese Association of Schools of Certified Psychiatric Social Worker

東京都港区港南 4-7-8 都漁連水産会館 6階 社養協内

電話 : 03-5495-7595 FAX : 03-5495-7596

E-mail : jascpsw@nifty.com

URL : www.jascpsw.jp

